

SEMANARIO DE S. PAULO

グワラニ語	五ツ六ツ	ピリグキ生
Caracatu	工業	oroepita'a
Chiná	森	Taba
apucai	さけふ	Tocá-Iborâmo
C r. ci	寒い	Tygue
Cañan	蛇をくう鳥	Tity
や士人が山の中に這入る時	蛇を避ける爲め此鳥の鳴聲を	Tumbi
蛇を避ける爲め此鳥の鳴聲を	して歩いた鳥なそうな。	Taqari
人 <small>が甚だ稀れである。</small>	蛇 <small>はそれだけ珍らしくは四ケ年賦一トル。</small>	Tuya
伯人 <small>の一般からも忘れられ、知る</small>	西方に別ち一城に付百參拾ミル—六百五拾ミル	Tobi
人が甚だ稀れである。	九種に別ち一城に付百參拾ミル—六百五拾ミル	Ty
からそ、られていた。	九種に別ち一城に付百參拾ミル—六百五拾ミル	Tahara
幾千年前幾繁にしたゲワラニ族	バクリ驛よりエスビゴン地帶を通過するも	Guarivui
。今日私共が「今日は」と呼びかは	のとアラサツーバ驛よりエスビゴン地帶を通過するも	Guacu
し、「ボンディア」と云ひ合つて居	道開設中なり(約廿糸は既に竣工)。	Guabira
る如く、彼等は「アニヤボウ」と	参ヶ年若しくは四ケ年賦一トル。	Guara
云ひ交して居たのだ。どうしてゲ	アゼンダニアアンサ即ち信濃協會殖民地の境界を	Itá
ワニ一人でなけりや人間でない	ノロエスティ線バクリ驛より貳キロ尘アルトダエフ	Ibira
と流行がつた世もあつたろう	ビゴン」を通過す。	Itaipa
戀も味はい色もあるつた恨も報い	アゼンダニアアンサ即ち信濃協會殖民地の境界を	Itá
もあつたのだ。	ノロエスティ線バクリ驛より貳キロ尘アルトダエフ	Iga
アヲ、モントヤ氏のゲワラニ語	ビゴン」を通過す。	Itaobi
ニ語字解を見ると、ゲワラニ語	九種に別ち一城に付百參拾ミル—六百五拾ミル	Iagapába
も立派組織がある。	バクリ驛よりエスビゴン地帶を通過するも	Ihambu
高壯な石造の宮殿、彼等の文化、	のとアラサツーバ驛よりエスビゴン地帶を通過するも	Iro
今も南米の古を處々に跡としてる。	道開設中なり(約廿糸は既に竣工)。	Ignacu
私は「ビ文法を云々してもつま	参ヶ年若しくは四ケ年賦一トル。	Itabira
らないが。私の好奇心が漁つたツ	アゼンダニアアンサ即ち信濃協會殖民地の境界を	Inyimbe
ビ語の五ツ六ツを茲れ披露する	ノロエスティ線バクリ驛より貳キロ尘アルトダエフ	Itaíca
つて、マゴッタイアリたり、何んと	ビゴン」を通過す。	Morubu
云ふ意味だらうと、軽くとも妙に	九種に別ち一城に付百參拾ミル—六百五拾ミル	Maraná
想れた人々へ「ウン、ソウ力」と多	バクリ驛よりエスビゴン地帶を通過するも	Mombeça
少でもうなづかる、節があれば	のとアラサツーバ驛よりエスビゴン地帶を通過するも	Moranaga
白からうと想つたからだ。勿論ゲ	道開設中なり(約廿糸は既に竣工)。	Manganga
ワニ一語に關して智識ある人の	参ヶ年若しくは四ケ年賦一トル。	Mingau
一層ハツキリした教を乞ふ。	アゼンダニアアンサ即ち信濃協會殖民地の境界を	Moäng
Alacaracatú 不思議	ノロエスティ線バクリ驛より貳キロ尘アルトダエフ	Mandiog
Abú 呼吸	ビゴン」を通過す。	Monananda a
Acanga 頭	九種に別ち一城に付百參拾ミル—六百五拾ミル	Monangara
Abare 借臣	バクリ驛よりエスビゴン地帶を通過するも	Mbaracaya
Amengau 食人	のとアラサツーバ驛よりエスビゴン地帶を通過するも	Oir
Ayá 買ふ	道開設中なり(約廿糸は既に竣工)。	Parana
Ayáoo ね馳走する	参ヶ年若しくは四ケ年賦一トル。	Pinbopô
Arinambó 才能	アゼンダニアアンサ即ち信濃協會殖民地の境界を	Pia
Arupua 商物	ノロエスティ線バクリ驛より貳キロ尘アルトダエフ	Piara
Boy 男下	ビゴン」を通過す。	Panaguan 道
Biriba 火の本	九種に別ち一城に付百參拾ミル—六百五拾ミル	Pata
Carach 根	バクリ驛よりエスビゴン地帶を通過するも	柳木實郎

P. 7



グワラニ語
五ツ六ツ

日本人の出生、死亡
及び歸國者數
(大正拾年ヨリ拾四年迄四年間)
在パウル日本領事館管轄内の
調査統計である。

土地提供

七千七百アルケレス

耕地名

サンラフツエル、フランジスコ、シミット氏より
ノロエスティ線バクリ驛より貳キロ尘アルトダエフ
同ジラスノロエスティ鐵道變更線は此耕地の境界を
ビゴン」を通過す。

アゼンダニアアンサ即ち信濃協會殖民地の境界を

ノロエスティ線バクリ驛より貳キロ尘アルトダエフ

ビゴン」を通過す。

詳細は照會次第御回答します
Cel. Joaquin Franco de Mello 代理人

竹内禮藏
上塙第二殖民地在住

事務所 ノロエスティ線リヌス町小學校向ヒ郵函一四八
取扱人 鈴木昌吉

新築開店御披露

皆々様の御信用と御引立により益々繁榮になりまことに就き

まして、數年間御愛顧になりました平野殖民地内の從來の店を

其ま、支店として、本店をカフエラヂア町に此度開店致しました。何卒本支店共に倍舊の御引立を御願いたします。

吳服反物、小問物、雜貨、食料品、陶器、金物類、日本品雜貨及食料品、内外酒類、建築用品、農具、書籍、學校用品、農產物賣買、土地不動產賣買、運搬業、周旋業、其他切商事行爲。

本店 北西綿メナ駅カフエラヂア町
汽 車 道 通 り
P. 7

●弊店のモットーは親切、正直、安價、多賣

副島商店

支店 メナ駅平野殖民地内

